

市民向け調査の 結果について

令和4年度

第3回摂津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進審議会

令和5年3月29日

市民向け調査の結果について

- アンケート調査結果の報告書素案は、資料4、資料5をご確認ください。(タイトル横に報告書案の該当ページを記載しています)

- この資料では、下記の内容について取りまとめています。
 - ① 第8期計画で指標としていた項目について

 - ② 今回のアンケート調査で新しく設けた項目について

 - ③ 中学校区毎のニーズについて

第8期計画で指標としていた項目について

■第8期計画で指標としていた項目は下記の項目

- 生きがいについて「ある」と答えた割合
- 主観的幸福感
- 介護を理由に仕事を辞めたり転職した人の割合
- 地域包括支援センターの認知度
- 人生の最終段階の医療・療養について話し合っている割合
- 認知症に関する相談窓口の認知度

■この項目の達成状況について、下記の3つの段階で評価

- 達成…目標値を達成したもの
- 上昇…目標値は達成していないものの、目標値に近づいたもの
- 低下…目標値を達成しておらず、目標値から遠くなったもの

生きがいについて（資料4 p.59）

■生きがいについて「ある」と答えた人の割合は目標を達成。

	令和元年度	令和5年度 (目標値)	調査結果	指標の 達成状況
生きがいについて「ある」と答えた人の割合 (ニーズ調査)	50.9% (令和2年1月)	55.0%	56.1%	達成

■「居住地域別」「性・年齢別」でも、すべての区分において、前回調査より上昇。

■生きがいの内容については「孫(子ども)の成長」が最も多く、「家族との団らん」「仕事」「出かけること」「知人との交流」等が上位。

主観的幸福感（資料4 p.90）

■主観的幸福感の平均点数については上昇。

	令和元年度	令和5年度 (目標値)	調査結果	目標の 達成状況
主観的幸福感の平均点数 (ニーズ調査)	7.0点 (令和2年1月)	7.5点	7.2点	上昇

■「居住地域別」「性・年齢別」でも、すべての区分において、7点以上と回答している割合が増加。

■女性は年齢とともに7点以上が徐々に減少。

■男性は、65歳以上で急激に7点以上が減少し、その後横ばい。

介護を理由に仕事を辞めたり転職した人の割合（資料5 p.19）

- 家族や親族の中で、調査対象者の介護を理由に、過去1年の間に仕事を辞めたり転職した人の割合は悪化。

	令和元年度	令和5年度 (目標値)	調査結果	目標の 達成状況
介護を理由に仕事を辞めたり転職した人の割合 (実態調査)	11.8% (令和2年1月)	10.0%	14.1%	低下

- 一方で「仕事を辞めた家族・親族はいない」についても、前回より4.8%増加。
- 「わからない」「無回答」を除いた回答の割合は下記の通りとなり、傾向としては「低下」。

	いる(※)	いない
前回調査	17.3%	82.7%
今回調査	18.8%	81.2%

※ 「いる」については「主な介護者が仕事を辞めた」「主な介護者以外が仕事を辞めた」「主な介護者が転職した」「主な介護者以外が転職した」の合計。

地域包括支援センターの認知度（資料4 p.147）

■地域包括支援センターの認知度は上昇。

	令和元年度	令和5年度 (目標値)	調査結果	指標の 達成状況
地域包括支援センターについて「知っている」と答えた人の割合（ニーズ調査）	19.6% (令和2年1月)	22.5%	22.0%	上昇

■「居住地域別」では、どちらの地域においても、前回調査より上昇。

■「性・年齢別」では、50歳～64歳、65歳～74歳ではおおむね維持または増加しているものの、75歳以上で、男女ともに「知っている」「聞いたことはある」と答えた割合が減少。

人生の最終段階の医療・療養について話し合っている割合（資料4 p.128）

■人生の最終段階の医療・療養について話し合っている割合は低下。

	令和元年度	令和5年度 (目標値)	調査結果	目標の 達成状況
人生の最終段階の医療・療養について話し合っている人の割合（ニーズ調査）	31.6% (令和2年1月)	39.5%	28.2%	低下

■「居住地域別」「性・年齢別」「世帯構成別」にみた場合も、おおむねどの区分においても低下。

■一方で、実態調査での同様の設問（今回新規）では、今後の医療や療養について、本人・介護者とも、約58%が「話し合っている」と回答。

	本人向け設問	介護者向け設問
今後の医療や療養について話し合っている人の割合（実態調査）	57.7%	57.8%

認知症に関する相談窓口の認知度（資料4 p.113）

■認知症に関する相談窓口の認知度は低下。

	令和元年度	令和5年度 (目標値)	調査結果	指標の 達成状況
認知症に関する相談窓口を 「知っている」と答えた人 の割合（ニーズ調査）	18.1% (令和2年1月)	20.0%	17.0%	低下

■「居住地域別」では、主に安威川以南圏域において前回調査より低下。

■「知っている相談窓口」としては、地域包括支援センターが増加。また、「かかりつけ医」と回答した割合が低下しており、特に安威川以北圏域において、20%程度低下。

第8期計画で指標としていた項目について（総括）

生きがいについて「ある」と答えた割合（ニーズ調査）	達成
主観的幸福感の平均点数（ニーズ調査）	改善
介護を理由に仕事を辞めたり転職した人の割合（実態調査）	低下
地域包括支援センターの認知度（ニーズ調査）	改善
人生の最終段階の医療・療養について話し合っている割合（ニーズ調査）	低下
認知症に関する相談窓口の認知度（ニーズ調査）	低下

- 生きがいがある人の増加や主観的な幸福感の上昇など、総括的な指標は上昇。
- また、高齢者の相談窓口である地域包括支援センターの認知度も上昇。
- しかし、人生の最終段階や認知症、介護が必要になった際など、有事に備えるための項目については低下。
- また、特に高年齢者（75歳以上）の各種認知度が低下。コロナ禍で講座等の集まる場での周知ができなかったため低下した可能性。

今回の調査で新しく設けた項目について

■今回の調査で新しく設けた主な項目

(ニーズ調査)

- 外出控えについて(外出控えの理由含む)
- 主観的な周囲とのつながりについて
- かかりつけ医療機関について
- お薬手帳について
- ICTの活用について
- 新型コロナウイルスによる生活の変化について
- 地域包括支援センター鳥飼分室について

(在宅介護実態調査)

- 30歳未満の介護者の有無
- 人生会議について

外出控えについて（資料4 p.35～38）

- 「外出を控えている」という回答が全体の約40%となっており、年齢が上がるにつれてその割合は上昇。
 - 外出を控えている理由としては、年齢区分による比率の差はあるが、「新型コロナウイルスの感染予防」が最多。
 - 外出の頻度や外出回数の減少の度合いについては、前回と比較して悪化。
- ⇒外出控えによるフレイルが懸念される。

主観的な周囲とのつながりについて（資料4 p.80）

- 性別では「男性」が点数が低い傾向。
- 年齢別では、年齢が上がるにつれて高得点が減少する傾向。また、男性では、65歳以上で「とてもつながっている」が大きく減少。
- 世帯構成別では、「1人暮らし」で高得点が大きく減少し「まったくつながっていない」と回答する割合も大幅に増加。
- 主観的な周囲とのつながりについて、点数が高いほど、主観的幸福感の高い割合が増える傾向。(p.91)

かかりつけ医療機関（資料4 p.99～104）

- かかりつけ医療機関を持つ人は、年齢とともに増加する傾向。
 - もの忘れについて「ある」と答えた人のうち、かかりつけ医療機関が「ない」と回答した方は12.8%。
 - また、そのうち、認知症に関する相談窓口を「知らない」と回答したは88.6%。
- ⇒「かかりつけ医なし」は必ずしも通院なしではないが、もの忘れに関する相談がされないまま進行するリスクがある人が一定数存在。

お薬手帳について（資料4 p.105）

- お薬手帳を使っている割合は年齢とともに上昇し、65歳以上では8割以上が使用。また、ほとんどが紙のお薬手帳を使用。
- ⇒高齢者に関わる人の情報共有の手段として、お薬手帳は活用できる見込みが大きい。

ICTについて①（資料4 p.138～142）

- 年齢別では、75歳未満では86.8%がスマートフォンを持っているが、75歳以上では約半数となっている。また、75歳以上では、27.7%が「携帯電話（スマートフォン以外）」を持っていると回答している。
- 地域別では、どの地域でも70%程度がスマートフォン、15%程度がスマートフォン以外の携帯電話を持っており、大きな地域差はない。
- 講座への参加希望については、65歳以上で割合が増え、年齢があがるにつれて「有料でも参加する」という割合は増える。また、地域差はない。

ICTについて②（資料4 p.138～142）

■希望する講座の内容については、おおむねどの年齢・地域でも下記の項目が上位。

- 安全に利用するための知識
- 生活で利用できるアプリケーションの紹介
- LINEなどのSNSの利用方法

■65歳以上では、「スマートフォンの説明」「基本的な操作の説明」「電話やメールのやり方」など、操作方法に関する講座を希望する割合も高くなる。

新型コロナウイルスによる生活の変化（資料4 p.143～146）

- 新型コロナウイルスによる生活の変化としては、いずれの設問においても、年齢・地域に関わらず「変わらない」が最多。
- しかし、「周辺の人とのつながりが減った」「地域活動への参加が減った」という回答が一定数存在する。
- また、IT機器の活用については、65歳未満で「増えた」が多く、65歳以上75歳未満でも一定数存在するものの、75歳以上では「増えた」と回答する人はほとんどおらず「減った」の方が多い。

⇒ 周囲の人とのつながりの減少や地域活動への参加の減少により、生活不活発によるフレイルや、つながりの減少による幸福度の低下につながるおそれがある。

地域包括支援センター鳥飼分室について（資料4 p.149～150）

- 令和3年11月に開設した地域包括支援センター鳥飼分室について、「知っている」と回答した割合は約7%。
- 圏域別にみると、安威川以南圏域が約10%。
- また、第2中学校区10.8%、第5中学校区16.4%となっており、主に鳥飼地域を中心に、一定の周知が行えている。

30歳未満の介護者の有無（資料5 p.9,16）

■30歳未満の介護者については、下記の通りとなっている。

主介護者		
	年代	人数
	20歳未満	1人
	20代	3人

主介護者以外		
	年齢	人数
	18歳未満	6人
	18歳以上23歳未満	10人
	23歳以上30歳未満	18人

- 主介護者・主介護者以外ともに、行っている介護としては、「外出時の付き添い、送迎等」「その他の家事（掃除、洗濯、買物等）」となっている。
- また、主介護者では「食事の介助」、主介護者以外では「食事の介助」「排泄」等の身体介護を行っているという回答がある。

人生会議について（要介護認定者）（資料5 p.51～53）

■本人向けの調査では、下記の通りとなっている。

- 要介護度があがるにつれて「話し合っている」の割合は増加。
- 話し合った相手としては、どの要介護度でも「家族」が最多。
- 話し合った相手「医療介護関係者」は、要介護度が上がるにつれて増加し、特に要介護1・2で増加する。

■家族向け調査では、下記の通りとなっている。

- 本人の要介護度に関わらず、約6割となっている。
- 本人の年齢が高くなるほど「話し合っている」という割合が低くなる。

中学校区毎のニーズについて

■下記の設問について中学校区別で分析

- 介護保険制度外で利用したいと感じる支援（ニーズ調査）
- 地域や自宅での生活を続けていくために必要な支援（実態調査）
- 今後充実してほしい施策（ニーズ調査・実態調査）
- 現在困っていることや不安なこと（ニーズ調査）

介護保険制度外で利用したいと感じる支援(ニーズ調査)(資料4 p.85)

■中学校区別の上位5項目は下記の通り。(無回答・その他を除く)

全体(参考)	第一中学校	第二中学校	第三中学校	第四中学校	第五中学校
外出の際の車両による送迎	外出の際の車両による送迎	外出の際の車両による送迎	外出の際の車両による送迎	外出の際の車両による送迎	外出の際の車両による送迎
買物の代行	食事の配達	食事の配達	買物の代行	食事の準備・後片付け	市役所など公共機関での手続きの代行
食事の配達	買物の代行	市役所など公共機関での手続きの代行	掃除	市役所など公共機関での手続きの代行	食事の配達
市役所など公共機関での手続きの代行	掃除	買物の代行	食事の配達	掃除	買物の代行
掃除	市役所など公共機関での手続きの代行	食事の準備・後片付け	市役所など公共機関での手続きの代行	買物の代行	病院予約・連絡、薬の受け取り

地域や自宅での生活を続けていくために必要な支援(実態調査)(資料5 p.47)

■中学校区別の上位5項目は下記の通り。(無回答・その他を除く)

全体(参考)	第一中学校	第二中学校	第三中学校	第四中学校	第五中学校
24時間体制の安心できるサービスがあること	災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること	必要なとき、施設に宿泊できること	災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること	買い物や通院時などの介助や送迎	必要なとき、施設に宿泊できること
災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること	24時間体制の安心できるサービスがあること	24時間体制の安心できるサービスがあること	気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること	必要なとき、施設に宿泊できること	24時間体制の安心できるサービスがあること
必要なとき、施設に宿泊できること	必要なとき、施設に宿泊できること	災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること	24時間体制の安心できるサービスがあること	災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること	気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること
気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること	気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること	訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること	必要なとき、施設に宿泊できること	気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること	買い物や通院時などの介助や送迎
買い物や通院時などの介助や送迎	訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること	買い物や通院時などの介助や送迎	訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること	24時間体制の安心できるサービスがあること	訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること

今後充実してほしい施策(ニーズ調査)(資料4 p.153)

■中学校区別の上位5項目は下記の通り。(無回答・その他を除く)

全体(参考)	第一中学校	第二中学校	第三中学校	第四中学校	第五中学校
突然の体調不良時の緊急対応サービス(24時間)	突然の体調不良時の緊急対応サービス(24時間)	突然の体調不良時の緊急対応サービス(24時間)	突然の体調不良時の緊急対応サービス(24時間)	突然の体調不良時の緊急対応サービス(24時間)	突然の体調不良時の緊急対応サービス(24時間)
在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実
高齢者を介護している家族等への支援	高齢者を介護している家族等への支援	声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援	高齢者を介護している家族等への支援	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	高齢者を介護している家族等への支援
声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援	健康づくりや介護予防のための施策の充実	高齢者を介護している家族等への支援	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備
特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援	移動手段の充実	声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援	健康づくりや介護予防のための施策の充実	声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援

今後充実してほしい施策(実態調査)(資料5 p.55)

■中学校区別の上位5項目は下記の通り。(無回答・その他を除く)

全体(参考)	第一中学校	第二中学校	第三中学校	第四中学校	第五中学校
突然の体調不良時の緊急対応サービス(24時間)	突然の体調不良時の緊急対応サービス(24時間)	突然の体調不良時の緊急対応サービス(24時間)	突然の体調不良時の緊急対応サービス(24時間)	突然の体調不良時の緊急対応サービス(24時間)	突然の体調不良時の緊急対応サービス(24時間)
高齢者を介護している家族等への支援	声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援	声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援	高齢者を介護している家族等への支援	声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援	高齢者を介護している家族等への支援
声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援	高齢者を介護している家族等への支援	高齢者を介護している家族等への支援	声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援	高齢者を介護している家族等への支援	移動手段の充実
災害時に支援が必要な人の支援体制の充実	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	災害時に支援が必要な人の支援体制の充実	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	災害時に支援が必要な人の支援体制の充実	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実
在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	災害時に支援が必要な人の支援体制の充実	健康づくりや介護予防のための施策の充実	健康づくりや介護予防のための施策の充実	移動手段の充実	健康づくりや介護予防のための施策の充実

現在困っていることや不安なこと(ニーズ調査)(資料4 p.158)

■中学校区別の上位5項目は下記の通り。(無回答・その他を除く)

全体(参考)	第一中学校	第二中学校	第三中学校	第四中学校	第五中学校
自分の健康に関すること	自分の健康に関すること	自分の健康に関すること	自分の健康に関すること	自分の健康に関すること	自分の健康に関すること
家族の健康や介護に関すること	家族の健康や介護に関すること	家族の健康や介護に関すること	家族の健康や介護に関すること	自分の介護に関すること	家族の健康や介護に関すること
終活に関すること	終活に関すること	収入や家計に関すること	終活に関すること	家族の健康や介護に関すること	災害に関すること
自分の介護に関すること	自分の介護に関すること	自分の介護に関すること	自分の介護に関すること	収入や家計に関すること	自分の介護に関すること
収入や家計に関すること	収入や家計に関すること	終活に関すること	収入や家計に関すること	終活に関すること	終活に関すること